



NO. 310

2019. 4. 15

社会福祉法人 大阪市手をつなぐ育成会
大阪市天王寺区東高津町12-10
大阪市立社会福祉センターB1F
発行責任者 小泉 いと子
TEL 06(6765)5621 FAX 06(6765)5623
<http://city-osaka-ikuseikai.or.jp>
定価 10円

大阪市手をつなぐ育成会 法人理念

障がいのある人が 安心して 心豊かに すごせるように

新年度を迎えて ～法人内各施設より～

平成31年度になりました。4月1日には新元号の発表があり、5月1日から令和元年となります。今年は「平成」から「令和」へ新たな出発の年でもあります。法人内の各事業所でも管理者をはじめ人事異動がありました。(詳細は10面に掲載しています。)

4月号では各事業所の管理者から平成31年度(令和元年)を迎えての思いや目標をそれぞれのテーマとなる“一字”に託して書いていただきました。

法人事務局 事務局長 飯塚 聡



福祉業界も含め、目まぐるしく情勢が変化する昨今ですが、大なり小なり大阪市育成会でも変化に対応することが求められてきています。

以前より、皆さまにはお伝えしておりますが、大阪市育成会では会員組織と事業実施主体の2面性を持ち合わせております。

会員組織の育成会での課題としては、若い世代の方が新たに入ってくるのが少なくなってきた

ている事になります。若い世代の方は「会」といった組織に縛られることを敬遠する傾向が強くなってきています。確かに会に入っていると、ある一定、時間的に拘束はされますが、一方で知り合うことがないような方たちと繋がる機会にも恵まれると思います。気持ちだけで自分にとってプラスにもなりますし、マイナスにもなるのではないのでしょうか?現に育成会の会員交流会の際、参加されている会員の皆さんのお話を聞くと、入ったキッカケは様々ですが、現在の状

況を聞くと皆さんがイキイキとされているように感じました。育成会に限らず繋がりを持つことは大事だと思います。

事業実施主体の育成会での課題としては、職員採用への応募が芳しくない事になります。これから人口構成の変化により高齢者が人口のほとんどを占めるようになる「逆ピラミッド型」へ変化すると言われていきます。そのような状況ですが、事業継続をしていくにあたっては、人材確保をし続けなければなりません。そのためには求職者から見て魅力のある組織にしていくことは勿論ですが、それに加えて新たな方向への舵きりも必要になるかもしれません。

会員組織の育成会と事業実施主体の育成会の両者に関わりますが、「今」の過ごし方が問われていると感じます。「今」の積み重ねにより過去があり、「今」の過ごし方によって未来が変えられるのではないかと思います。

「今」という時間を大切に!

東成育成園 管理者 林 祥子



【地域から安心かつ信頼を寄せただけの事業所を目指して!】

今年度も東成育成園の施設長を務めさせていただきます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

街が桜色に染まり心華やぐ日に新たな元号が発表され、私自身も、自らの原点に立ち返り、より実りある年にしていきたいと改めて襟を正しております。

その原点とは・・・かつて、この職業を志した頃【和顔愛語

和 顔愛語

(わげんあいご)

～わげんあいご】という言葉に出会いました。この